

瑞穂市都市計画マスタープラン
改定案
(地域別構想編 牛牧地域)

令和8年10月 地域別懇談会
瑞穂市

計画の構成

瑞穂市都市計画マスタープラン

導入編

第1章 都市計画マスタープランの策定にあたって
第2章 これからの都市づくりに向けて

・国の政策、本市の現状を踏まえた都市づくりのあり方

全体構想編

第3章 都市づくりのビジョン
第4章 都市づくりの基本計画
第5章 分野別都市づくり計画

・根幹となる都市づくりの目標・考え方

・4つの分野の整備、誘導方針

地域別構想編

第6章 地域別構想にあたって
第7章～第13章 地域のまちづくり構想

・7地域に区分

・全体構想を基に各地域の特徴・課題、方針・施策

地域別構想にあたって

○地域区分

- ◆ 地域別構想では、全体構想の内容や、地域の特性を考慮しながら、各地域のまちづくりの方向性を定めます。
- ◆ 地域区分は、改定前の7つの小学校区による区分を継承します。この7つの地域区分は、自然的、社会的、経済的及び文化的諸条件、関連計画や市民の日常生活等においても、基本となっていることを勘案し、設定しています。



図 地域区分図

計画の構成

瑞穂市都市計画マスタープラン

導入編

- 第1章 都市計画マスタープランの策定にあたって
- 第2章 これからの都市づくりに向けて

・国の政策、本市の現状を踏まえた都市づくりのあり方

全体構想編

- 第3章 都市づくりのビジョン
- 第4章 都市づくりの基本計画
- 第5章 分野別都市づくり計画

・根幹となる都市づくりの目標・考え方

・4つの分野の整備、誘導方針

地域別構想編

- 第6章 地域別構想にあたって
- 第7章～第13章 地域のまちづくり構想

・7地域に区分

・全体構想を基に各地域の特徴・課題、方針・施策

牛牧地域のまちづくり構想

○地域の特徴

〈面積及び人口〉

- ◆ 令和2年の人口は、12,949人(市全体の23.0%)で、平成27年～令和2年の人口増減は、621人の増(5.0%増加)と、市平均増加率(3.7%)より増加率が高い地域です。
- ◆ 令和2年の高齢者数は、2,455人(市全体の20.3%)で、高齢化率は19.0%と、市平均(21.5%)より低い地域です。

表 人口増減(都市計画基礎調査)

	H27	R2	増減数	増減率
牛牧地域	12,328	12,949	621	5.0%
市全体	54,354	56,388	2,034	3.7%

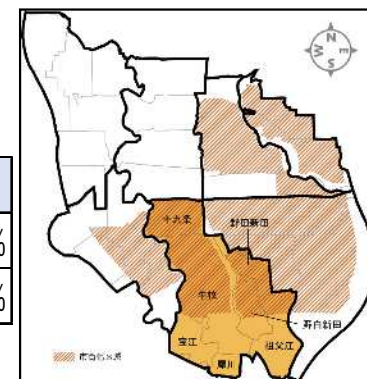
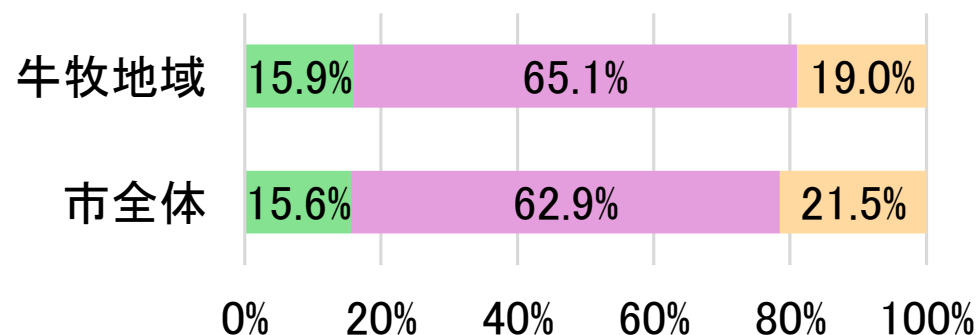


図 地域の位置



■ 年少人口 (0～14歳) ■ 生産年齢人口 (15～64歳) ■ 老年人口 (65歳以上)

図 年齢層別人口の割合(国勢調査)

〈土地利用等の現況〉

- ◆ 犀川地区周辺では土地区画整理事業が完了し、大規模商業施設の立地や住宅建設が進んだ結果、都市的土地利用は約62%と比較的高くなっています。

牛牧地域のまちづくり構想

○地域の特徴

- ◆ 住宅用地が全体の約22%を占め最も多く、次いで田が約17%と多くなっています。

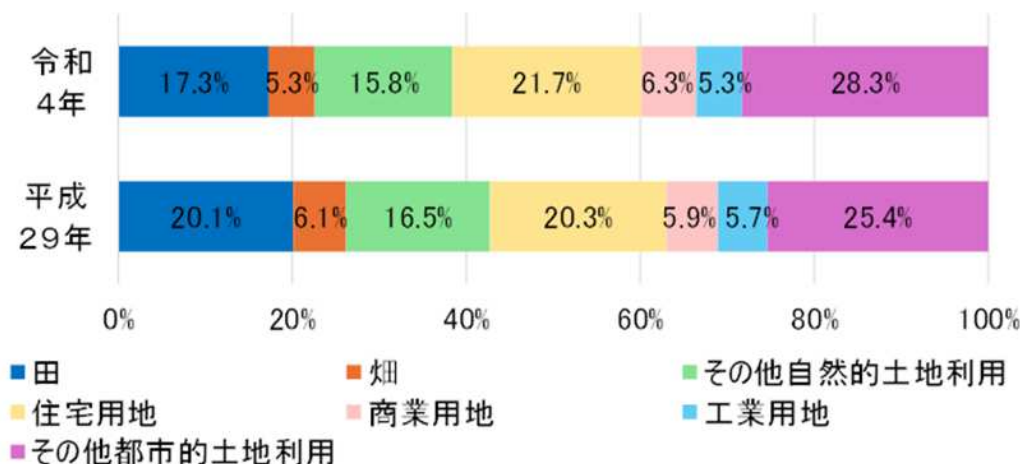


図 土地利用現況(都市計画基礎調査)

〈都市施設等の現況〉

- ◆ 都市計画道路は、5路線が計画決定されていますが、一部区間を除き整備が完了しています。
- ◆ 牛牧地区の一部において、公共下水道の整備が進められています。
- ◆ 面的整備は、犀川堤外地土地区画整理事業及び牛牧団地が整備されています。

〈市民の意向〉

- ◆ 定住意向は約87%で、定住したい理由では「住み慣れていて愛着がある」のほか、「買物や通院が便利」という意見が多くなっています。
- ◆ 施策に対する現状の満足度・今後の重要度として、都市基盤や交通基盤に関する現状の満足度が低く、今後の重要度が高いことから、今後重点的に改善に取り組む必要性が高くなっています。

牛牧地域のまちづくり構想

○地域づくりの主要課題

個別分野	主要課題
都市機能	・人口増加の維持に向けた、子育て世代や若者の定住を促進する良好な住環境の形成
土地利用	・十九条駅周辺地区や犀川周辺地区における生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の維持、誘導、集積を図り、これからのライフスタイルに合った暮らしの中心としての機能強化
	・住宅主体の良好な市街地環境の維持・保全
	・低未利用地や幹線道路沿道等の計画的な活用による商工業系の土地利用の充実
	・地域特性に応じた用途の見直しによる住工の混在解消や調和
都市施設	・都市間、拠点間をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成
	・河川の自然、親水環境の保全、活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
	・犀川遊水地グリーンインフラ事業の推進
	・生活環境の向上を目的とした公共下水道の整備推進
都市環境 その他	・都市拠点、地域生活拠点等の市街地整備に合わせた災害に強い都市づくり
	・五六閘門などの歴史的建造物の保全、活用

牛牧地域のまちづくり構想

○地域づくりの方針

豊かな自然と調和し、活力ある産業集積と安全、快適に暮らせる地域づくり

- ◆ 十九条駅周辺地区や犀川周辺地区では、生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の集積を図るとともに、用途混在の解消や操業環境との調和、治水対策の推進により、安全で快適な住環境の形成を図ります。
- ◆ 交通利便性の高さを活かし、国道21号や主要地方道北方多度線などの幹線道路沿道では、都市活力の向上に資する産業(商業、工業、流通、業務等)の集積を図ります。
- ◆ 河川(犀川、五六川等)や犀川遊水地の自然環境、田園風景等と調和した計画的な土地利用を推進します。

牛牧地域のまちづくり構想

地域における重点施策

道路、交通づくり

- ① 岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の整備
- ② 一般県道美江寺西結線の整備(JR高架下、忠太橋付近)
- ③ 一般県道牛牧墨俣線の整備
- ④ 市道西部環状線の整備
- ⑤ 公共交通ネットワークの強化

水、緑づくり

- ① 犀川遊水地グリーンインフラ事業の推進
- ② 河川環境の保全、親水空間の整備(散策路等)
- ③ 公共下水道の整備

図 地域構造及び重点施策図(牛牧地域)



		凡 例	
地域界		地域生活拠点	広域幹線道路
住宅地 周辺、郊外居住		学術研究拠点	幹線道路
商業地		健康づくり拠点、市民交流拠点	幹線道路(構想区間)
住工共存地		歴史、文化交流拠点	補助幹線道路
工業地		主要な防災活動拠点	その他の主要な生活道路
沿道複合地		土地利用検討区域	身近な防災拠点
農地、集落地		歩行者ネットワーク(沿川等)の主軸	身近な健康、交流拠点
自然環境地			身近な歴史、文化拠点
			身近な自然、交流拠点
			その他の施設

<地域における基本的な施策>

地域間を結ぶ道路の整備	都市基盤未整備地区の整備
生活道路の整備	集落の整備
歩行環境の整備	既存ストックの活用
自転車走行環境の整備	災害に強い都市基盤の整備
美しく機能的な道路空間の整備	防災情報の整備、活用
交通結節点の整備	防犯環境の整備、促進
拠点的な公園の整備	公共空間の景観整備
身近な公園の整備	景観に配慮した民間開発の誘導
緑豊かな住環境の保全、創出	低炭素な建築物の整備、誘導
合併浄化槽の設置	環境負荷の少ない都市構造の構築

牛牧地域のまちづくり構想

地域における重点施策

市街地づくり

- ① 土地利用の規制、誘導(十九条駅周辺地区、犀川周辺地区等)
- ② 市街化区域への編入検討(犀川周辺)
- ③ 適正な土地利用の検討
- ④ 地域生活拠点の形成(十九条駅周辺地区、犀川周辺地区)

都市環境づくり

- ① 犀川遊水地の整備
- ② 河川整備
- ③ 地域の不燃化、耐震化
- ④ 五六閘門を活かした景観形成

図 地域構造及び重点施策図(牛牧地域)



凡 例			
地域界		地域生活拠点	
住宅地 周辺、郊外居住		学術研究拠点	
商業地		健康づくり拠点、市民交流拠点	
住工共存地		歴史、文化交流拠点	
工業地		主要な防災活動拠点	
沿道複合地		土地利用検討区域	
農地、集落地		歩行者ネットワーク(沿川等)の主軸	
自然環境地			
		広域幹線道路	
		幹線道路	
		幹線道路(構想区間)	
		補助幹線道路	
		その他の主要な生活道路	
		身近な防災拠点	
		身近な健康、交流拠点	
		身近な歴史、文化拠点	
		身近な自然、交流拠点	
		その他の施設	

<地域における基本的な施策>

地域間を結ぶ道路の整備	都市基盤未整備地区の整備
生活道路の整備	集落の整備
歩行環境の整備	既存ストックの活用
自転車走行環境の整備	災害に強い都市基盤の整備
美しく機能的な道路空間の整備	防災情報の整備、活用
交通結節点の整備	防犯環境の整備、促進
拠点的な公園の整備	公共空間の景観整備
身近な公園の整備	景観に配慮した民間開発の誘導
緑豊かな住環境の保全、創出	低炭素な建築物の整備、誘導
合併浄化槽の設置	環境負荷の少ない都市構造の構築

牛牧地域の写真



十九条駅



犀川地区
(土地区画整理事業地区)



新堀川

ご清聴ありがとうございました



さい川さくら公園



五六閘門



アクアパークみずほ